

(ご注意)
 ・この用紙は、ゆうちょ通帳アプリおよびゆうちょ銀行・郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 ・この用紙は、機械で読み取りますので、口座記号番号および金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ・払込みの際、法令等に基づき、依頼人様（および代理人様）の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
 ・この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおとことろ・おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 ・この受領証は、払込みの証拠となるものです。大切に保管してください。
 ・なお、備考欄に「口座払」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。
 ・この用紙をゆうちょ銀行または郵便局にお預けになるときは、引き換えに「預り証」を、必ずお受け取りください。



(2024.1)

(ご注意)
 ・この用紙は、ゆうちょ通帳アプリおよびゆうちょ銀行・郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 ・この用紙は、機械で読み取りますので、口座記号番号および金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ・払込みの際、法令等に基づき、依頼人様（および代理人様）の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
 ・この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおとことろ・おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 ・この受領証は、払込みの証拠となるものです。大切に保管してください。
 ・なお、備考欄に「口座払」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。
 ・この用紙をゆうちょ銀行または郵便局にお預けになるときは、引き換えに「預り証」を、必ずお受け取りください。



(2024.1)

亜細亜大学ご支援のお願い

学びを次世代へ

- 教育研究振興資金（健康スポーツ科学部設備整備募金）
- 教育研究振興資金（使途区分：留学プログラムを支援する）
- 教育研究振興資金 ● スポーツ振興資金
- ASEAN 諸国留学生奨学金 ● 冠留学生奨学金
- 亜大古本募金 ● 遺贈・相続財産によるご寄付



ご寄付に関するお問い合わせ先

- 寄付事業全体に関すること
 総務部 総務課 TEL:0422-36-3241/E-mail:somu@asia-u.ac.jp
- 申し込みや振込方法等に関すること
 財務部 財務課 TEL:0422-36-3251/E-mail:zaimu@asia-u.ac.jp

ごあいさつ

亜細亜学園は、昭和16(1941)年の創立以来、建学精神「自助協力」のもと、アジア各国やアメリカとの国際交流を軸に、広く産業界の期待に応えられる真の国際人を育成することを使命として、教育・研究活動を行ってまいりました。

令和8(2026)年11月、本学は創立85周年を迎えます。昭和、平成、令和と時代が移ろう中で、本学が社会にリスペクトされる国際色豊かな大学として確固たる地位を築いてこられたのは、ひとえに卒業生、保護者の皆様、そして地域社会の方々の温かいご支援とご厚情の賜物であり、深甚なる感謝を申し上げます。

この記念すべき年に、初の理系学部となる健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科を開設いたしました。健康とスポーツについての深い理解とデータとデジタル技術の活用能力を備えることで、人々の健康実現とウェルビーイングな社会の発展に貢献することのできる人材を育成してまいります。

令和9(2027)年には、実験室やトレーニング室を備えた健康スポーツ科学部実験実習棟が武蔵野キャンパスに竣工します。今後も、教育環境の拡充を図ることで、学生たちの探究心を支える揺るぎない基盤を築いてまいります。

つきましては、本学園の一層の充実と発展を期すために、教育研究振興資金、スポーツ振興資金、ASEAN諸国留学生奨学金、冠留学生奨学金、亜大古本募金及び遺贈・相続財産によるご寄付の各趣旨にご賛同いただき、皆様の特段のご理解とご援助を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年4月

学校法人亜細亜学園 理事長 巴 政雄
亜細亜大学 学 長 永綱 憲悟



学校法人亜細亜学園理事長
巴 政雄



亜細亜大学学長
永綱 憲悟



建学の精神 自助協力

亜細亜大学の「自助協力」は、太田耕造初代学長が提唱した建学精神です。太田学長は、「自己を助ける者は自己なり、自己こそ最上の助け主なり」、「自助は独立に通ず」、「協力の花は自助の根から」と述べました。「自助」とは、一人ひとりがしっかりと自己を確立し、それぞれの道を切り拓くこと。真の「協力」とは自立した人間同士の協力関係であると説いているのです。太田学長は、このような精神を身に付けた誠実な人材を育成して、アジア全体の発展に貢献することを建学の使命としました。現代においても、その精神は脈々と受け継がれています。

寄付金事業の紹介

P3
S
P4

4月開設 健康スポーツ科学部
健康スポーツ科学科
新規 教育研究振興資金
(健康スポーツ科学部設備整備募金)



P5
S
P6

教育研究振興資金
(使途区分：留学プログラムを支援する)
教育研究振興資金の返礼品紹介



P7

教育研究振興資金



P8

スポーツ振興資金



P9

ASEAN諸国留学生奨学金



P10

冠留学生奨学金

P11

亜大古本募金 /
遺贈・相続財産による
ご寄付

P12

寄付金に対する
税制上の優遇措置

P13
S
P14

申込方法・払込用紙

健康スポーツ科学部

健康スポーツ科学科

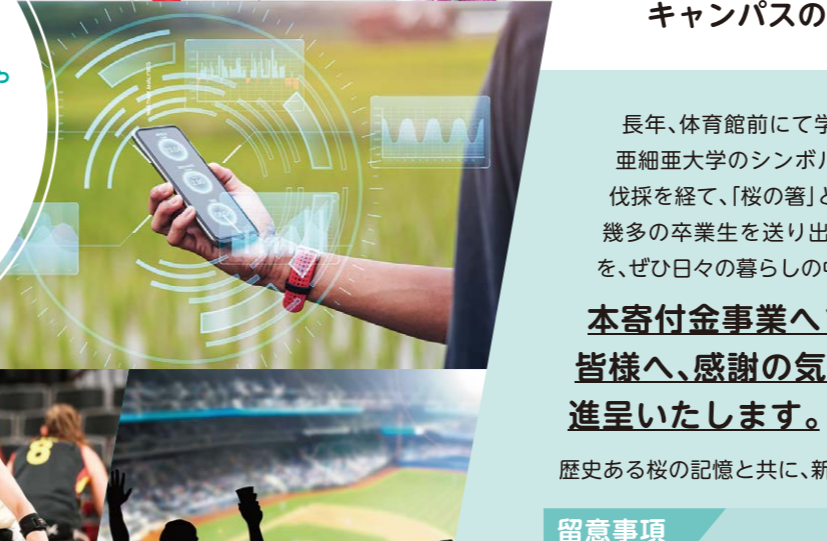
「健康スポーツ科学」と「情報工学」を学べる

「スポーツ」×「DX」でアプローチできる学びは無限大です。
 データから人の動きや試合、健康行動を分析し、パフォーマンスの向上に繋がる科学的知見、効果的なスポーツの指導法や運動処方などを実践的に学びます。
 そして、スポーツ産業やスポーツ振興を活性化するための実践的なマネジメント力を身につけ、デジタル技術を活用し得る人材としてキャリアに繋がります。

令和9年 実験実習棟誕生!



健康スポーツ科学部のシンボルとなる実験実習棟ではスポーツバイオメカニクス実験室やトレーニング実習室をはじめとして、スポーツの盛んな本学ならではの施設・設備を使って学びを深められます。



新規

教育研究振興資金 (健康スポーツ科学部設備整備募金)



「健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科」開設に伴い、教育研究の拠点となる「健康スポーツ科学部実験実習棟」を建設いたします。本事業は、学生がより高度な実践的学びを得るための「教育研究設備」の導入・整備を目的としています。最新の映像解析システムや生体情報測定機器など、スポーツを科学的に分析し健康社会に貢献する人材を育成するための設備投資に、皆様からのご寄付を大切に充当させていただきます。

募集期間	募集対象	募金額
令和8年4月1日から 令和9年3月31日まで	法人、卒業生、父母、 教職員等	10 1,000円
用途 実験実習棟等、健康スポーツ科学部教育研究設備の整備及び設備投資		

教育研究振興資金 (健康スポーツ科学部設備整備募金)の返礼品紹介

桜の記憶を未来へ繋ぐ。 キャンパスのシンボルが贈る 「感謝の形」

キャンパスの記憶を刻んだ「桜の箸」をお手元に。

長年、体育館前にて学生や近隣の皆様に親しまれてきたソメイヨシノ。亜細亜大学のシンボルとして春を彩ってきたその木々が、老朽化による伐採を経て、「桜の箸」として生まれ変わりました。幾多の卒業生を送り出し、学園の歩みを見守り続けてきた桜のぬくもりを、ぜひ日々の暮らしの中でお楽しみください。

本寄付金事業へ1万円以上のご寄付をいただいた皆様へ、感謝の気持ちとしてこちらの記念品(1膳)を進呈いたします。

歴史ある桜の記憶と共に、新学部の未来を育んでいただけますと幸いです。



- 留意事項**
- 累計の寄付金額ではなく、1回1万円以上のご寄付により記念品(1膳)を贈呈いたします。
 - カラーは選択いただけません。
 - お届け予定は令和8年10月以降となります。
 - 写真は試作品であり、一部デザインが変更になる可能性があります。
 - お届け先は、寄付申込時にご記入いただいた住所とさせていただきます。

教育研究振興資金

(使途区分:留学プログラムを支援する)

亜細亜大学は創立時から「アジアの興隆に寄与する人材の育成」を建学の使命として掲げております。オリジナリティ溢れる留学プログラムを意欲的に開発し、卒業生の6人に1人が留学を経験しております。今後も目標に向かって頑張る学生の夢を断念させず、1人でも多く支援していくため、教育研究振興資金の使途に「留学プログラムを支援する」区分を設け、海外留学における参加費などの補助に充ちたいします。



寄付概要

募集期間	募集対象	募金額	使途
令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで	法人、卒業生、父母、 教職員等	1口 1,000円	海外留学における 参加費などの補助

寄付金の活用事例

半期留学プログラム参加者の留学費用

亜細亜大学には、アメリカ・中国・マレーシア・韓国を留学先とした半期留学プログラムがあり、学生の様々な目的に合わせて最適な学びの場を選択できる環境を整備しています。上記プログラム参加学生のうち学業成績上位者が受給できる「亜細亜大学半期留学プログラム奨学金」に充ちたいしました。



充当経費: 2,050,000円 ※令和6年度以前の寄付金を含む

学生の声

令和7年度から開始した韓国への半年間の留学プログラム・AUKPの1期生として、令和7年度春学期に慶熙大学校へ留学しました。韓国語を本格的に習得するため、留学中は日常生活から積極的に現地語を使うよう意識しました。授業で学んだ表現はその日のうちに復習し、実際の会話で即座に使うことを徹底。最初は苦労もありましたが、継続することで自信を持ってコミュニケーションできました。皆様からいただいた奨学金は現地での生活費として大切に活用させていただきました。貴重な経験をいただいたことに心より感謝申し上げます。今後はTOPIK6級合格という目標を掲げ、さらなる学びに励んでまいります。

佐野 彩花さん (三島北高等学校出身)
国際関係学部多文化コミュニケーション学科3年



事業報告

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

令和7年度に頂戴しました
寄付金の合計金額 **969,000円** となりました!



寄付に関する
詳細はこちらから

教育研究振興資金の返礼品紹介

(使途区分:留学プログラムを支援する)

教育研究振興資金の中でも、「使途区分:留学プログラムを支援する」をお選びいただきますと、寄付金額に応じて、長くAUAP(亜細亜大学アメリカプログラム)派遣を行ってきた海外大学のグッズを返礼品として贈呈いたします。



AUAP (亜細亜大学アメリカプログラム) ワシントン州 派遣先大学	2 必要寄付 金額 万円	3 必要寄付 金額 万円	5 必要寄付 金額 万円
CWU CWU (セントラルワシントン大学)	2 必要寄付 金額 万円	3 必要寄付 金額 万円	5 必要寄付 金額 万円
 所在地 ワシントン州エレンスバーク市 学生数 約10,000人	 返礼品番号 C-04 サイズ 直径7.2cm×高さ25.4cm 重量 130g	 返礼品番号 C-02 サイズ 幅20cm×奥行き17cm×高さ20cm	 返礼品番号 C-03 サイズ 縦130cm×横165cm
 所在地 ワシントン州チニー市 学生数 約12,000人	 返礼品番号 E-04 サイズ 直径8.6cm×高さ22.8cm 重量 160g	 返礼品番号 E-02 サイズ 幅15cm×奥行き15cm×高さ29cm	 返礼品番号 E-03 サイズ 縦127cm×横152.4cm
 所在地 ワシントン州ペリグラム市 学生数 約15,000人 ※令和6年度をもって派遣終了	 返礼品番号 W-04 サイズ 直径8.9cm×高さ19cm 重量 180g	 返礼品番号 W-02 サイズ 幅17cm×奥行き22cm×高さ23cm	 返礼品番号 W-03 サイズ 縦145cm×横210cm

留意事項

- 累計の寄付金額ではなく、1回の寄付金額に応じて返礼品を選択することができます。寄付金額内での返礼品の組み合わせは可能です。(※1)
- ご寄付の入金確認ができた時期により、返礼品の発送スケジュールが異なります。(※2)
- ご希望の返礼品が在庫切れや製造中止となった場合には、代替品を送付しますので、ご了承ください。
- 法人及び団体からの寄付の場合は、返礼品を選択することができません。
- 返礼品を辞退される場合は、払込取扱票の返礼品欄へのご記入は不要です。
- 払込取扱票の返礼品欄にご記入がない場合は、「返礼品の辞退」として取り扱いますので、ご了承ください。
- お届け先は、寄付申込時にご記入いただいた住所とさせていただきます。

(※1) 組み合わせ例

ご寄付の金額	返礼品
50,000円	①C-03 ②E-04、W-02
100,000円	①C-03、E-03 ②C-04、E-02、W-03

(※2) 発送予定

ご寄付の入金	返礼品の発送
4月~9月	11月中旬頃
10月~3月	5月中旬頃

教育研究振興資金

教育研究振興資金は、建学精神「自助協力」のもと、
 広く産業界の期待に応えられる真の国際人を育成することを使命として、
 教育・研究活動の整備及び活動振興を行うための資金です。



募集期間	募集対象	募金額	使途
令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで	法人、卒業生、父母、 教職員等	1口 1,000円	教育・研究活動の整備及び 活動振興

English Cafe	エアライン講座	図書館リニューアル工事
授業の空きコマを利用して、外国人講師と フリートークが楽しめる「English Cafe」を 開催しています。気軽に参加できる英会話 の場を設けることにより、語学力はもちろ んのこと、英語によるコミュニケーション 力が向上し、自発的に英語学習に取り組む 学生が増え、1,298名の利用がありました。	エアライン業界やサービス業界を目指す学 生が夢を実現するため、就職活動に必要な 基礎知識やマナーなど専門的なノウハウを 学ぶ1回90分、全12回の講座を委託実施 し、24名が受講しました。	図書館2階から4階フロアについて、学生の 主体的な学びをはぐくむための学修環境と 利用者サービスの拡充を図ることを目的に 図書館リニューアル改修工事を実施し、より 快適な学修環境として生まれ変わりました。 <small>※上記は3階フロアの写真です。</small>
充当経費:2,973,300円	充当経費:1,941,360円	充当経費:11,241,711円

学生の声 Thank you Message

「英語を話せたら、もっと視野を広げられる」という思いで、日々語学学習に励んで
 います。
 特に1年次から継続して参加している「English Cafe」は、私に不可欠な学びの
 場です。自由なトピックで対話できる最高のアウトプットの機会であると同時に、
 志の高い仲間と出会える場でもあります。互いに成長を実感し合える環境がある
 ことは、大きな喜びです。
 皆様のご支援のおかげで、このような質の高い学びが実現できていることに心
 より感謝申し上げます。
 将来は、日本と海外の架け橋となるような仕事がしたいと考えています。

高久 幸之助さん (作新学院高等学校出身)
 経済学部経済学科4年



事業報告

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

令和7年度に頂戴しました
 寄付金の合計金額 **16,206,371円** となりました！



寄付に関する
 詳細はこちらから

スポーツ振興資金

亜細亜大学を創設して以来、建学精神「自助協力」の実践の場として
 課外活動を奨励してまいりました。
 特に、スポーツ活動は、そのフェアプレイ精神と鍛錬に耐える精神の発露により、
 周りに大きな感動を与え、同時に、学生たちの大きな成長の機会となります。
 本寄付事業は、体育会29団体が世界・全国で活躍するために、
 合宿費や大会参加費等に充当する資金です。



募集期間	募集対象	募金額	使途
令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで	卒業生を中心に、 広く一般の後援者	1口 5,000円	① 体育会全体の活動支援 ② 体育会個別団体への指定支援

体育会団体一覧		
<ul style="list-style-type: none"> ・アジア女子ローンテニス部 ・応援指導部 ・剣道部 ・ゴルフ部 ・社会体育研究会 ・女子バレーボール部 ・吹奏楽団 ・日本拳法部 ・バレーボール部 ・陸上競技部 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカンフットボール部 ・空手道部 ・硬式庭球部 ・サッカー部 ・柔道部 ・女子陸上競技部 ・セパタクロー部 ・バスケットボール部 ・ボクシング部 ・ワンダーフォーゲル部 	<ul style="list-style-type: none"> ・居合道部 ・弓道部 ・硬式野球部 ・自動車部 ・準硬式野球部 ・水泳部 ・軟式野球部 ・バドミントン部 ・洋弓部

学生の声 Thank you Message

入学以来、競技力向上を目標に日々のトレーニングに全力で取り組み、デフサッ
 カー日本代表として国際大会に出場する機会にも恵まれました。聞こえない中での
 コミュニケーション力や状況判断力を磨き、大学と代表活動を両立させてきた
 経験は、私の大きな財産です。
 日の出キャンパスの素晴らしい環境のおかげで、技術やフィジカルの強化に専念
 することができました。寄付者の皆様の温かいご支援があるからこそだと深く実
 感しており、心より感謝申し上げます。
 卒業後も競技を継続し、世界の舞台で結果を残すことで、障がいの有無にかかわら
 ず多くの方に勇気を届けられる選手を目指してまいります。

瀧澤 諒斗さん (敬愛学園高等学校出身)
 法学部法律学科 サッカー部 2026年卒業
 東京2025デフリンピック* サッカー日本代表
*聴覚障がい者のための世界規模の総合スポーツ競技大会



事業報告

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

令和7年度に頂戴しました
 寄付金の合計金額 **17,200,180円** となりました！



寄付に関する
 詳細はこちらから

ASEAN諸国留学生奨学金

「日本企業で活躍できるグローバル人材育成」を目指し、産業界はもとより広く社会の期待に応えられる真の国際人を育成することを目的に設立した、本学への留学を志すASEAN諸国の外国人留学生を対象とする奨学金です。



寄付概要

募集期間	募集対象	募金額	用途
恒常的寄付事業のため、期間の定めなし	法人、卒業生、父母、教職員等	自由に設定可能	ASEAN諸国からの外国人留学生の奨学金

寄付方法

申込用紙をご用意しております。◇財務部財務課 TEL:0422-36-3251 まで、お問い合わせください。

TOPIC

ASEAN諸国留学生奨学金 創設10周年

令和8年に、本奨学金は創設10周年を迎えました。これまでに多くの企業様からご賛同いただき、135人の留学生がご支援を力に変えて日本での学業に励んでまいりました。また、ご寄付のみならず、インターンシップや企業見学会の受け入れ等温かいお力添えをいただき、活動内容も年々充実したものとなっています。これまでの支援体制をさらに強固なものとし、広く社会の期待に応えられる真の国際人の育成に注力してまいります。



学生の声

Thank you Message

日本語能力をさらに高めたいと考え、日本留学および本学への進学を決めました。現在は、都市開発のゼミに所属し、デザインの力で地域課題を解決する手法を学んでいます。また、課外活動では、英会話サークルの責任者としても活動し、留学生と日本人学生が英語で楽しく交流できる環境づくりに取り組んでいます。寄付者の皆様の温かいご支援のおかげで、このように充実した日々を過ごせることに、心より感謝申し上げます。将来は日本で都市計画や建設に関わる仕事に就き、専門性を活かして社会に貢献できる人材になれるよう、より一層努力してまいります。

ユン ミヤツシンさん (ミャンマー出身)
都市創造学部都市創造学科3年



事業報告

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

令和7年度に頂戴しました
寄付金の合計金額 **112,005,000円** となりました！



寄付に関する
詳細はこちらから

冠留学生奨学金

亜細亜大学では在籍する外国人留学生の経済的支援活動の一環として、個人名・企業名を冠した「亜細亜学園冠留学生奨学金」の寄付を募集しています。経済的困窮から学びを断念し、帰国を検討せざるを得ない学生がいる一方で、奨学金の支えによって学業に専念し、希望する企業へ就職した学生もいます。本寄付金事業は、日本での学びを志す留学生の情熱に応え、自立を支援するための奨学金です。



寄付概要

募集期間	募集対象	募金額	用途
恒常的寄付事業のため、期間の定めなし	法人、卒業生、父母、教職員等	24万円	外国人留学生への奨学金 【1人:月額2万円を毎月支給(12カ月)】

寄付方法

申込用紙をご用意しております。◇国際連携部インターナショナルセンター TEL:0422-36-3255 まで、お問い合わせください。

TOPIC

これまでのご寄付詳細

令和7年度は、寄付者のご意向に沿って選出された18名の外国人留学生に対して、奨学金を支給しました。なお、平成11年度より始まった本奨学金により、これまで延べ500名以上の留学生に対して財政支援を行っております。



学生・寄付者の声

Thank you Message

大学では、都市空間デザインの研究に励み、卒業後は日本でハウスメーカーに就職します。石川様のご寄付のおかげで、学業に打ち込むことができ、思い出もたくさんできました。

スロイ チャイフオーさん (カンボジア出身 (写真左))
都市創造学部都市創造学科 2026年卒業

日本語能力を向上させて、将来は日本とベトナムをつなぐ存在になりたいと思っています。奨学金のおかげでアルバイトの回数を減らすことができ、とても感謝しています。

マイティ トウイフエンさん (ベトナム出身 (写真右))
国際関係学部国際関係学科2年

石川 幸一 様 (寄付者 (写真中央))

留学生の夢を後押ししたいと考え、奨学金名を「YUME奨学金」と名付けて2人の学生を支援させてもらっています。年に一度開催される寄付者と留学生との懇親会にて、お2人とお話しし、母国の様子や学業・生活について何うことができました。学生の頑張りを間近で見守ることができるのは、大変喜ばしいことです。元気で積極的にお話しされる様子が頼もしく感じました。



事業報告

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

令和7年度に頂戴しました
寄付金の合計金額 **5,160,000円** となりました！



寄付に関する
詳細はこちらから

亜大古本募金

事業報告

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

令和7年度に頂戴しました
寄付金の合計金額

59,838円 (書籍168冊)
となりました！

「亜大古本募金」は、ご賛同いただける方々から利用しなくなった書籍、CD、DVDを送っていただき、その買取金額を亜細亜大学の教育・研究支援資金として寄付していただく取り組みです。

なお、2010年以前に出版された本や、不揃いの漫画セット、ISBN(国際標準図書番号)がっていない本、雑誌などは対象外となっております。

寄付概要

募集期間

恒常的寄付事業のため、期間の定めなし

募集対象

法人、卒業生、父母、教職員等

申込みページは
コチラ▼



遺贈・相続財産によるご寄付

近年、終活への関心が高まっており、備えとして身辺整理を始められる際、母校への寄付を検討される卒業生が増えてきております。本学園としても、皆様のご意志を実現させるお手伝いをするべく、令和6年4月から「遺贈・相続財産によるご寄付」を設立いたしました。



寄付概要

募集期間

種別

使途

恒常的寄付事業のため、
期間の定めなし

① 遺贈寄付 ② 相続財産寄付
※いずれも現金のみの受付とさせていただきます。

教育研究環境の整備及び
活動振興資金

あなたの思いが、未来で花開く

近年、「終活」への関心が高まり、その備えとして身辺整理を始められる際、母校への寄付を検討される卒業生が増えています。また、人生の集大成として「築いてきた財産の一部を社会のために役立てたい」と、考えている方も増えつつあります。亜細亜学園では、皆様のご意志を実現させるお力添えをいたしたく、「遺贈・相続財産によるご寄付」を設けております。

「自分の遺産をお世話になった母校のために遺したい」
「将来の日本を支える後輩・子どもたちに寄付したい」
「人生の最後に社会貢献をしたい」

皆様の思いを次の世代に遺すお手伝いをさせていただきたく、亜細亜学園への「遺贈寄付」、「相続財産寄付」のご検討を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

あなたの思い、亜細亜学園がしっかりとつなぎます

あなたの
寄付が
未来をつくる

未来の社会の
ために投資したい

亜細亜大学で学び集立っていき、社会をつくっていく学生へのご支援は、未来への貢献につながります。

母校を
応援したい

生きた証に
したい

様々な事情から今は寄付をすることができなくても、遺贈・相続財産寄付の形であれば母校を支援できる場合もあります。

ご逝去後、ご寄付は大学の教育・研究活動に使わせていただき、「カタチ」として後世に残していきます。

相続税を
節税したい

財産の使い方は
自分で決めたい

学園への遺贈・相続財産のご寄付については、相続税が非課税となります。

人生をかけて築いた財産。どのように使うか自分で決めたいと思うのは自然な考えです。これは憲法で保障される自己決定権の一つでもあります。

備考

詳細は別冊子「遺贈・相続財産によるご寄付のご案内」をご用意しております。総務部総務課(TEL:0422-36-3241)まで、お問い合わせください。

寄付金に対する 税制上の優遇措置

以下の税制上の優遇措置を受けることができます。

個人の場合

寄付者個人の選択により、**A) 所得税額の控除**か、**B) 所得金額からの控除**のどちらかが適用されます。

例 東京都武蔵野市在住の方の場合

課税される年間所得金額 ▶ 500万円 | 大学への寄付金額 ▶ 100,000円



確定申告
メリットの大きい方を選択

A) 税額控除

所得税率に関係なく、**直接所得税から控除**

$$\left[\begin{array}{l} \text{寄付金額}^{\ast 1} \\ 100,000\text{円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{限度額} \\ 2,000\text{円} \end{array} \right] \times \begin{array}{l} \text{控除率} \\ 40\% \end{array} = \begin{array}{l} \text{控除額}^{\ast 2} \\ 39,200\text{円} \end{array}$$

※1: 控除対象となる寄付金額は年間総所得額等の40%が上限
※2: 当該年の所得税額の25%が上限

B) 所得控除

所得金額に応じ、**税率を掛けて控除額を算出**

$$\left[\begin{array}{l} \text{寄付金額}^{\ast 3} \\ 100,000\text{円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{限度額} \\ 2,000\text{円} \end{array} \right] \times \begin{array}{l} \text{所得税率}^{\ast 4} \\ 20\% \end{array} = \begin{array}{l} \text{控除額} \\ 19,600\text{円} \end{array}$$

※3: 控除対象となる寄付金額は年間総所得額等の40%が上限
※4: 年間の所得金額により異なります

住民税の控除

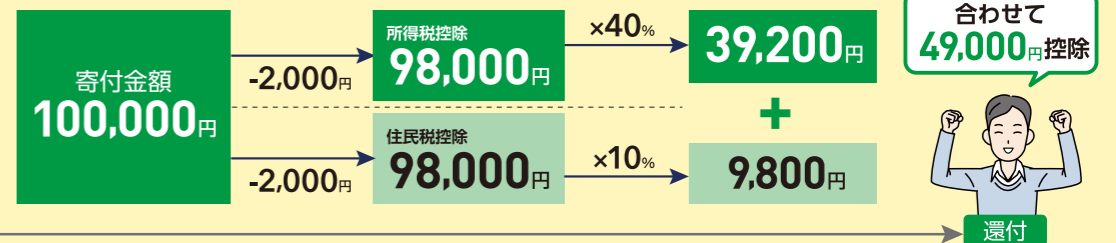
お住まいの地域により**最大10%**(都道府県、市区町村分を合わせて)の住民税控除

$$\left[\begin{array}{l} \text{寄付金額}^{\ast 5} \\ 100,000\text{円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{限度額} \\ 2,000\text{円} \end{array} \right] \times \begin{array}{l} \text{住民税控除率} \\ 10\% \end{array} = \begin{array}{l} \text{控除額} \\ 9,800\text{円} \end{array}$$

※5: 寄付した年の年間総所得金額等の30%が上限

※学校法人への寄付金が税額控除の対象に指定されている場合には、住民税の控除も受けることができます。
※学校法人への寄付金が税額控除の対象に指定されているかは、お住まいの地方公共団体税務担当課にお問い合わせください。

私は
A) 税額控除を
選びました



法人の場合

法人税法に基づく特定寄付金として、当該事業年度の損金に算入(損金算入限度額以内)することができます。また、教育研究振興資金では、

寄付金全額を損金として算入できる「**受配者指定寄付金制度**」^{※6}もご利用いただけます。

※6: 受配者指定寄付金制度…日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄付者が指定した学校法人へ寄付する制度です。ご利用の際は、財務課(zaimu@asia-u.ac.jp)まで、お問い合わせください。

手続き方法・年末のご寄付に関するご注意

税制上の優遇措置に必要な寄付金受領書の日付は、本学口座への入金日です。申込日や決済日、カード決済口座からの振替日ではありませんので、寄付金控除の適用対象年については十分ご注意ください。オンライン決済をご利用の場合、決済(クレジットカード払い、コンビニ払い)されてから、本学の口座に入金されるまで、1~2カ月程度を要しますので、予めご了承ください。税控除のための必要書類や手続き方法については、下記二次元コードより大学公式サイトをご参照ください。

「年末のご寄付に関するご注意」もあわせて掲載しております。税控除をお考えの方は必ずご確認ください。

<https://www.asia-u.ac.jp/about/donation/genmei/>



※寄付金控除を受けるには確定申告が必要となります。詳しい条件などはお住まいの地域を管轄する税務署等へご相談ください。

申込方法①

専用払込取扱票

(お払込み[ゆうちょ銀行・郵便局のみ]からご寄付をご希望される場合)

(1) P14の「払込取扱票」に金額・郵便番号・住所・氏名・電話番号等の必要事項をご記入ください。

※「教育研究振興資金」、「スポーツ振興資金」それぞれ払込取扱票が異なりますので、ご注意ください。

(2) ご記入された金額をお払込みください。

※お払込みはゆうちょ銀行・郵便局のみとなります。

【記入例】A 教育研究振興資金

金額をご記入ください

該当箇所に✓と金額をご記入ください

氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号をご記入ください

「教育研究振興資金」(留学プログラムを支援する)を選択された方は返礼品番号と数量をご記入ください
※返礼品番号はP6をご参照ください

金額をご記入ください
氏名をご記入ください

【記入例】B スポーツ振興資金

金額をご記入ください

該当箇所に✓をご記入ください

氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号をご記入ください

該当箇所に✓をご記入ください

支援団体をご記入ください
※支援団体はP8をご参照ください

金額をご記入ください
氏名をご記入ください

申込方法②

オンライン決済

(クレジットカード決済やコンビニエンスストア決済からご寄付をご希望される場合)

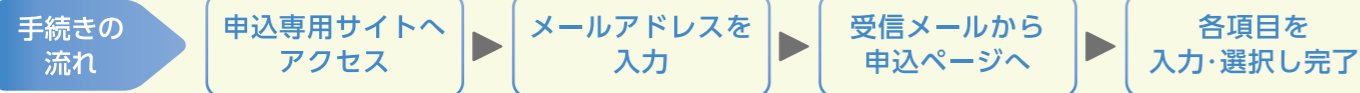
(1) 本学園公式サイト「ご寄付のお願い」にアクセスいただき、オンライン寄付フォームを選択してください。

<https://www.asia-u.ac.jp/about/donation/>

「ご寄付のお願い」へのアクセスはコチラ



(2) メールアドレスをご入力いただきましたら、寄付手続き開始メールが送信されますので、メール本文内のURLをクリックし、手続きを進めてください。



A 教育研究振興資金

【記入方法は左記ページをご参照ください】

B スポーツ振興資金

クレジットカード決済

右記のロゴマークがついているクレジットカードがご利用いただけます。



コンビニエンスストア決済

右記のコンビニエンスストアでご利用いただけます。

